

下水道草の根活動（タイ王国）の下水道支援活動

2019.04.26 共和コンサルタント株式会社 縄田圭司

1. 概要

2018年11月に、埼玉県海外下水道推進協議会の一員として、タイ王国バンコクで開催された下水道技術セミナーと、タイ王国内の下水道技術者との交流会に参加してきました。

埼玉県海外下水道推進協議会とは、埼玉県下水道公社がタイ下水道公社（WMA）に対して、国際協力機構（JICA）の草の根技術協力事業を活用して、下水道技術支援を実施している団体です。現在は第2期目となり、埼玉県下水道局と県内民間団体の技術を生かして、平成27年から平成30年度までにタイ王国の主要都市で技術支援を行っています。

2. 自己紹介

私は、1995年4月に共和コンサルタント株式会社に入社し、下水道管きょ実施設計・改築更新実施設計を主に行っております。当社では埼玉県海外下水道推進協議会のメンバーに入っており、2018年から、私も埼玉県海外下水道推進協議会のメンバーに加わることになりました。2018年に2回タイ王国への下水道技術支援に参加することになり、下水道設計に関する発表や処理場見学に行かせて頂きました。

3. 草の根活動の内容

下水道技術セミナーの発表では、埼玉県下水道の概要、再生水の活用、下水道計画、下水道維持管理について、それぞれの技術者が発表資料を作成して、スピーチを行いました。発表は幸運にも日本語で、同時通訳によるものでしたが、資料自体は英語で作成しなければならなかったため、プレゼン資料作成には、大変な時間と労力が掛かりました。その分、発表が無事終わった時の達成感はいままで経験したことの無い充実感がありました。

発表後、質疑応答がありましたが、その中で印象的であったのが、「終末処理場まで接続する管渠の全体計画をどのように進めていいのかわからない」ということでした。終末処理場は海外のコンサルタントが設計して建設するのですが、接続する管渠については、別の組織団体が担当し、計画をどのように修正して進めていくのかが解らない状況でした。そのため、集中豪雨で街中が浸水しても基礎資料が乏しいため対策・検討が進まず、美しい観光スポットに汚水未処理水が流れてしまうことが増えてしまい、観光客の減少に繋がっていました。

今後は、終末処理場の維持管理だけでなく、下水道計画・設計を含めて技術支援を行うことが必要であると感じました。

その後、タイ王国内の処理場見学や交流会・表敬訪問を行って、何人かの下水道技術者とお話しする機会がありました。話の内容は通訳を通じて行いますが、図面を見ることでお互いに伝えようとしていることや問題点を共有できたことはとてもよかったです。



写真1 技術セミナー発表の様子



写真2 市内にある終末処理場



写真3 美しい海岸風景



写真4 海に放流される未処理水
(ゲートが故障したまま)

4. 観光

セミナー等の日程が無事終了した後、観光に出かけました。タイ王国といえばワット・ポーやアユタヤ遺跡等が有名で、歴史を感じることが出来てとても面白かったです。

タイ王国自体は、冬でも気温が高く、非常に湿気が多いため、半そでで過ごすことができませんでしたが、室内は恐ろしいほどクーラーで低温設定にしているため、10分以上いると長袖を着ていないと風邪をひいてしまう程です。

バンコク国内に流れているチャオプラヤ河では、夜間クルージングによる食事会が盛んです。その船は派手の一言に尽きますが、夜景は奇麗だし、食事もおいしいのでとても楽しかったです。



写真5 アユタヤ遺跡



写真6 ワットポーにある大寝釈迦仏



写真7 チャオプラヤ河の様子

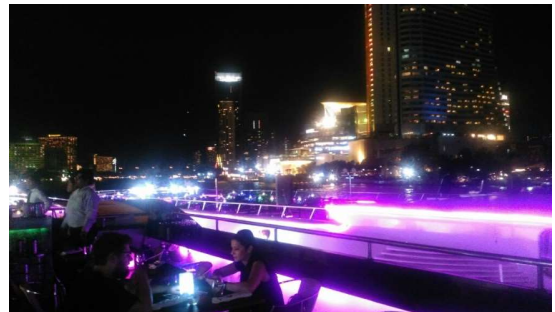


写真8 夜間クルージング

5. 終わりに

この様な下水道草の根活動による下水道技術支援の交流会に参加することができて、私自身大変勉強になりました。また、この様な機会に巡り会えるように日々精進し、埼玉県とタイ王国との友好関係に少しでもお役に立てることができれば幸いです。

以上